

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

2021年11月22日

和泉市長 あて

一般社団法人
団体名 いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会
代表者名 代表理事 樽本知子
所在地
電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	ハートフルフェスタ 2022
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース ■ ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	_____ 808,000円 (うち、対象経費 _____ 763,000円)
支援金 交付申請額	_____ 381,000円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	イッパンシャダンホウジン イズミショウガイフクシサービスジギョウ ショダンタイレンゴウカイ		
団体名	一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会		
団体の目的	障がい福祉サービス事業所とその事業所を支える個人や地域の活力を引き出し、泉州福祉圏域の自立的な発展と、障がいのある方やその家族の生活の質の向上を図ることをその使命に掲げ、これにより「共に生きる社会」の実現を担う者として、障がいのある方やその家族、行政と共にその実現に寄与することを目的とする。		
市内事務所の所在地			
	電 話		F A X
フリガナ	タルモト トモコ		
代表者氏名	樽本 知子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※		電 話
	フリガナ ヤナギ ノゾム		
	柳 望		F A X
(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設 立 年 月	平成 27 年 7 月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 (回発行) ・ <input type="checkbox"/> 無	会員数	21 人
メールアドレス			
ホームページ	http:// www.facebook.com/syousaren		
主な事業内容	各種イベントを通じた会員事業所利用者の地域交流や日頃の活動の発表の場づくり、障がいや障がいのある方の理解の啓発、障がいのある方たちの、会 員事業所間共通の課題収集と解決、障がい福祉の増進をはかるための意見集 約と発信、障がい福祉サービスに従事する人材の育成など。		
主な活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> ■ ハートフルフェスタ2019 後 援：和泉市、和泉市教育委員会、和泉市社会福祉協議会等 場 所：弥生の風ホール 参加者：約 380 名 		

	<ul style="list-style-type: none"> ■ いずみきらめきフラワーフェスティバル 2019 後 援：和泉市、大栄環境株式会社 場 所：和泉 リサイクル環境公園 参加者：約120名 ■ ハロウィン風船バレーボール大会 2019 場 所：和泉市立コミュニティ体育館 参加者：約400名 ■ 和泉市自立支援協議会、施策推進協議会 関係団機関として会議へ出席。 ■ いずみの国観光おもてなし処清掃作業 近畿日本ツーリストより受託。 		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	2019	ちょいず	76,304 円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	ハートフルフェスタ 2022
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	<p>① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 多様性を認める社会やユニバーサルデザインや合理的配慮などが求められ始めた今、各福祉サービス事業所それぞれでその課題について色々な活動などを通じて頑張っているが、点が線や面にならない状況が続いていて、本当の意味での地域交流などの機会が少ない。</p> <p>② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 障がいのある方や障がいについて、社会に誤解をうけるのは、障がいのある方や障がいについて理解されていないから。感動の対象にされるのではなく、自主的に地域へ参加するイベントを開催することで、お互いを知るという目的を共有し、障がいのある方もない方も、支援者もボランティアも分け隔てなく一緒に楽しむ。その中で、時代が必要としている課題に参加者それぞれが取り組み、新しい自分を発見できるということにつながるため。また、和泉市のまちづくりの目標でもある安全・安心の促進や和泉市の目指す将来像にあるスマイル都市への一翼を担うことで、我々の活動が、広く和泉市民の方たちに理解を得られることにつながり、地域へ貢献できることになる。</p>
4 事業内容（※別紙添付可）	<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 イベントを、障がいのある方やない方とともに創り上げることで、お互いの理解を深めようという試み。ただイベントを観ることだけでなく、一緒に参加できる形にすることで、「理解」へ至るためのコミュニケーションや気づきなどのプロセスを共有できる。多様な人達が、同じものに感動することやつくり上げていく中でお互いを理解することなど「共感」の部分を大切にしたいイベント。</p>
② 実施期間（日時）	2022年11月22日（火） 13:30 ~ 15:30
③ 実施場所	和泉シティプラザ弥生の風ホール
④ 主な対象者	和泉市の一般の方、地域の障がいのある方と支援者とその家族など
⑤ 参加予定者数	500人
⑥ 告知方法	ポスター、チラシ、フェイスブック、いずみ広報、協力者のホームページ掲載等

5 事業スケジュール	
次期(月)	内容
2021.11	<ul style="list-style-type: none"> ■ いずみ障サ連定例会：イベントゲスト検討・選定 ■ 会場予約（開場予定：弥生の風ホール）
2022.1	
2022.2	<ul style="list-style-type: none"> ■ イベントゲスト決定・打診 ■ いずみ障サ連定例会：実行委員会発足
2022.3	
2022.5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第1回実行委員会 ～月1回実行委員会開催～ ■ 会場視察・打ち合わせ、ゲスト打ち合わせ
2022.6	
2022.7	<ul style="list-style-type: none"> ■ プログラム、フライヤー、ポスター、パンフレットなど広報物企画打ち合わせ ■ 会場装飾物発注
2022.9	
2022.10	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市長、教育長、社協、衆議院・府・市議会議員 など式典への参加依頼 ■ 広報物、装飾物、揃う
2022.11	
<p>6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)</p>	
① 公益性	障がい者福祉において、国の目指す形である“インクルーシブ”においても、まずは障がいのある方とのふれあいから始まると考えられるため、イベントを通じて、準備の段階から幅広く、色んな人たちと作り上げることに意義があると考えています。
② 継続性	資金面においては、主に社員（福祉事業所）からの会費により賄っています。しかし、より盛大に、迫力のあるイベントにするために助成を希望しています。 また、これまで約20年にわたり継続してくる中で大学生や高齢者等のボランティアとも実施してきた部分から今後も多くの市民に共感を得ることができると目指します。
③ 実行性	イベント開催に際し、これまでも社員である法人格を持つ団体の力を結集して取り組んでいるため、安定的に実施してこられています。
④ 協働性	②でも述べたように、これまでも大学生や市民の方のご協力を得ながら、実施してきました。さらに、今回のイベントにおいても当会の社員だけでなく、広く市民の方と協働できることを目指します。
⑤ 公開性	当会のもつツール以外にもいずみ広報を始め、協力者を募り、発信していきたいと考えています。
⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	過去、このイベントに協力してくれているゲストを始め、協力してくれていた方々のお力もあり、参加者からの期待値は上がっており、毎年参加者が増加傾向にあります。 こうした状況を踏まえ、今後もイベントを続けていくためには、事業の安定性の確保が求められると考えています。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： ハートフルフェスタ 2022

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	381,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	110,000	協賛金
自主財源	317,000	法人予算
合 計	808,000	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	285,000	出演料、手話通訳・筆記通訳士、撮影、司会
旅費	20,000	出演者・撮影・司会交通費及び駐車代
消耗品費	30,000	風船（演出用）、文具（芳名録など）、名札等（来賓者用）
食糧費	10,000	出演者、撮影者、司会者など昼食とお茶
印刷製本費	100,000	A4チラシ（カラー片面）×1,000 A2ポスター（カラー片面）×100 A32つ折りプログラム（モノクロ両面）×500
役務費	3,000	保険料
委託費	15,000	警備員委託
使用料	300,000	弥生の風ホール（機材・控室、オペレーター代含む）、プロジェクターレンタル 著作権料（JASRAC）
対象外経費	45,000	関係者のお弁当代、花束
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)	0	
合 計	808,000	
対象経費	763,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。